令和○○年度　第○○回鹿児島県特別支援教育研究大会○○大会を開催するにあたって

ゴシ１４ｐ　９０％

○　○　地　区

ゴシ１２ｐ

ゴシ１２ｐ

１　はじめに

　　○○地区で特別支援学級が設置されている学校は，小学校１０校（知的障害特別支援学級８，自閉症･情緒障害特別支援学級７），中学校３校（知的障害特別支援学級３，自閉症･情緒障害特別支援学級２）で，通級指導教室も小学校１校（言語障害通級指導教室１，LD･ADHD通級指導教室１）に設置されている。

※　地区評議員・理事と養護学校評議員・理事が連絡を取り合って，「開催するにあたって」の原稿作成を進めてください。

　　本地区でも，特別支援学級数及び在籍児童が増加傾向である。また，特別教育支援員等の支援により，通常の学級での学習をする児童も増えてきており，多様化する障害の理解と支援の方法に専門性が求められ，特別支援教育への重要性が高まってきている。

　　県特別支援教育研究会○○地区大会を来年に控え，各特別支援学級と○○養護学校と連携を取りながら，○○地区全員体制で行えるよう準備をしている。また，○○市で行われる特別支援教育の研修会を通して，子ども一人ひとりのニーズに合った指導の在り方を探っているところである。指宿地区の特別支援教育の充実・発展を図るとともに，○○大会が実りある会となるよう努力していきたい。

この「開催するにあたって」（Ａ４　２～３枚）と別に地区（小学校・中学校のみ）の活動状況について報告するページ（Ａ５横置き１枚）があります。内容の違いを明確にしてください。

２　研究主題

「自立と社会参加を目指した特別支援教育の推進」

３　努力点

(1)　各学校・学級の児童の課題を把握し，指導法改善に努める

次年度大会の成功に向けて，地区全体（小学校・中学校・特別支援学校）で協力して，今年度に何を具体的に取り組んでいくのかという視点で紹介してください。

(2)　校内支援体制の在り方を研究する。

(3)　地区内の特別支援学級や支援学校，関係機関との連携を図る。

(4)　○○地区特別支援作品展開催・作品集発行

(5)　第６３回県特別支援教育研究大会「指宿大会」の計画推進に努める。

４　活動経過

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 期日 | 主な行事・内容 | 担当者 |
| ４月３０日**経過**となっているのは，原稿の作成の時期は，１学期～２学期ですが，研究誌の発行は年度末の２月となるためです。　 | ○○市特別支援教育部会 | 各学校 |
| ５月１０日 | 県特別支援教育研究会第１回評議員会・理事会 | 県評議員・理事 |
| ５月２７日 | 特別支援学級一日交流会 | 市教委 |
| 　６月１０日 | 地区特別支援教育研究協議会総会及び研修会 | 各学校長 |
| 　７月２５日 | ○○市特別支援教育部会 | 各学校 |
| 　８月　５日 | ○○大会打ち合わせ会 | 理事 |
| １０月２３日 | ○○地区手をつなぐ育成会スポーツ大会参加 | 各学校 |
| １２月上旬 | ○○地区特別支援学級作品展 | 各学校 |
| 　２月中旬 | ○○地区特別支援学級作品集発行 | 各学校 |
| 　２月１４日 | 県特別支援教育研究会第２回評議員会・理事会 | 評議員 |

５　○○地区特別支援教育研究協議会役員

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 　役職名 | 氏　　　名 | 学校名 |
| 会　　　長 | ○　○　○　○（県評議員）特別支援学校の役員，設置されている学級（障害種別），児童生徒数の紹介も含めて作成してください。よろしくお願いします。なお，紙面が２ページで足りない場合は，３ページになっても構いません。 | 　○　○　小 |
| 副　会　長 | 　　○　○　　　○ | 　○　○　○　中 |
| 書記・会計 | 　　○　○　○○○（県理事） | 　○　○　小 |
| 監　　　事 | 　　○　○　　　○ | 　○　○　○　中 |

６　特別支援学級設置校一覧

[小学校の部]

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 市町村名 | 学　校　名知的障害学級⇒知自閉症・情緒障害学級⇒自・情肢体不自由学級⇒肢病弱・虚弱学級⇒病 | 学　校　長　名 | 学　級　数 | 児　童　数 |
| ○○市 |  | 上　野　美　保　子 | ２（知１自・情１） | 　　　　６　 |
|  | 　有　馬　隆　之 | １（自・情１） | 　　　　１　 |
|  | 　倉　内　健　一 | ２（知１自・情１） | 　　　　９ |
|  | 　鶴　丸　博　文 | １（知１） | 　　　　１ |
|  | 学　校　数 | 担任数 | 児童数 |
| １０ | １５ | 　　４０ |

　[通級指導の部]

言語通級指導教室

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学　校　名 | 学　校　長　名 | 児童数 |
| ○　○　小 | ○　○　○　○ | １５ |

LD,ADHD通級指導教室

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学　校　名 | 学　校　長　名 | 児童数 |
| ○　○　小 | ○　○　○　○ | ７ |

教室の名称は，各市町村によって異なるようです。

[中学校の部]

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 市町村名 | 学　校　名 | 学　校　長　名 | 学　級　数 | 生　徒　数 |
| ○○市 | ○　○　○中 | ○　○　○　○ | ２（知１情１） | 　　　６ |
|  |  | ２（知１情１） | 　　　５ |
|  |  | １（知１） | 　　　３ |
|  | 学　校　数 | 担任数 | 生徒数 |
| ３ | ５ | １４ |

７　特別支援学校設置学級一覧

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学　校　名 | 学校長名 | 学　級　数 | 児童・生徒数 |
| ○○養護学校　　 | 　○○○○　　 | 標準学級　　　　３８ | 　　　　２１８ |
| 重複障害学級　　１３ | 　　　　　３３ |
| 訪問教育学級　　　４ | 　　　　　　９ |

８　おわりに

　　来年度，第○○回県特別支援教育研究大会が○○地区で開催される。このことは，地区特別支援教育のさらなる充実と発展が期待される。この機会を生かし地区内の小中学校・養護学校が連携を図り一体となって，充実した大会となるように準備を進めていきたいと考える。